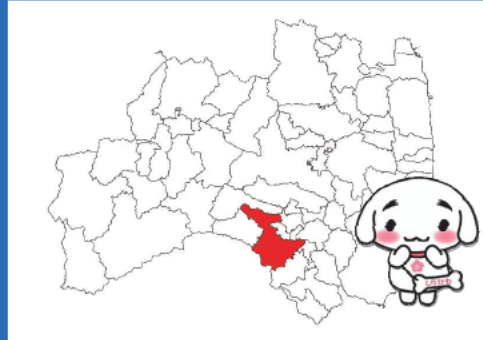


都市構造可視化の活用



福島県白河市 都市計画課

i-都市交流会議2020

1

1. 既存のツールとの比較（現況分析）

GISを活用した人口概況分析

行政内部

役所内であれば、数値データを確認しながら、右図でも情報分析は可能である。



対住民

時間に限りのある住民説明会では、直感で納得していただく必要があり、平面的なメッシュ情報であると分かりにくい。

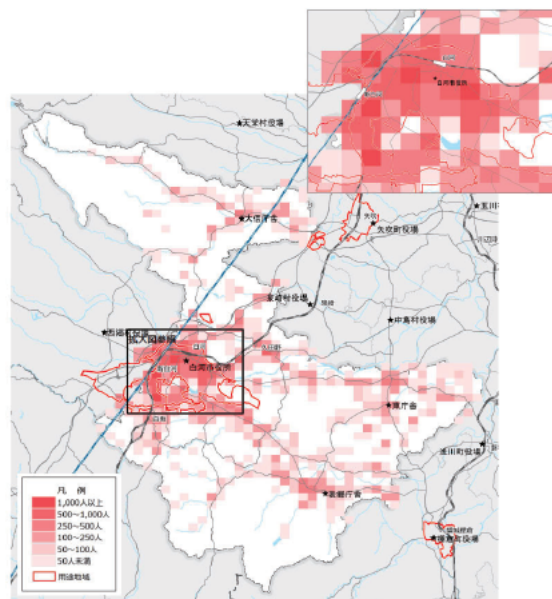


図 人口分布（500mメッシュ）

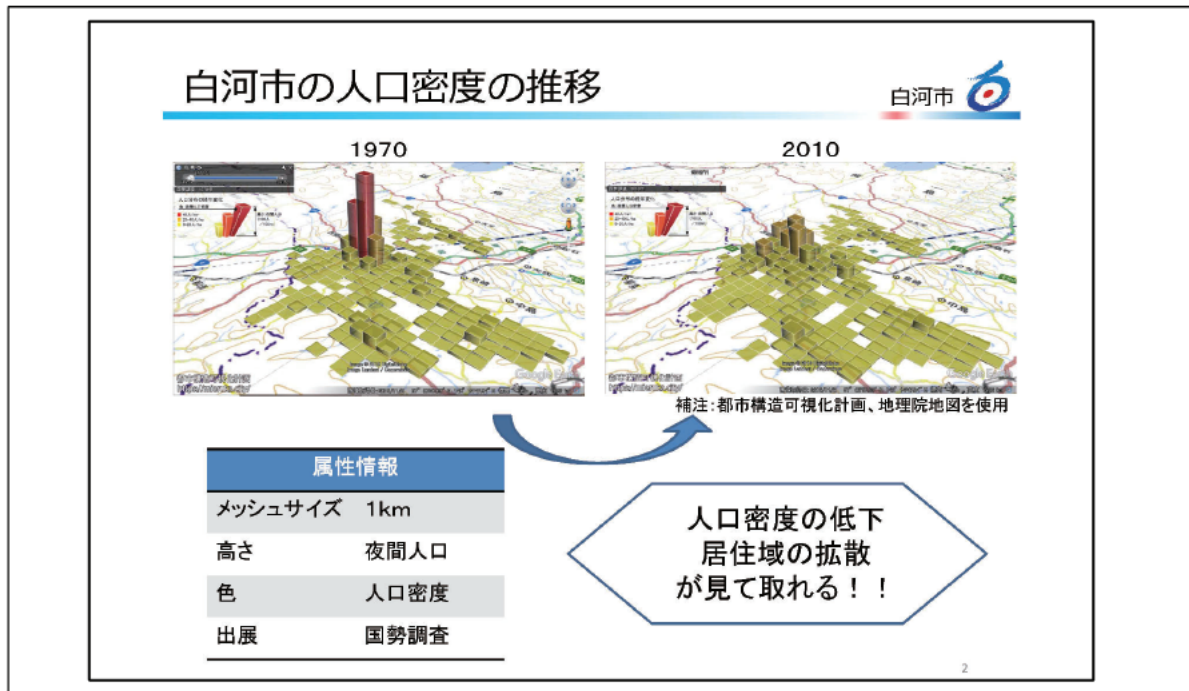
資料：国勢調査（2017）

i-都市交流会議2020

2

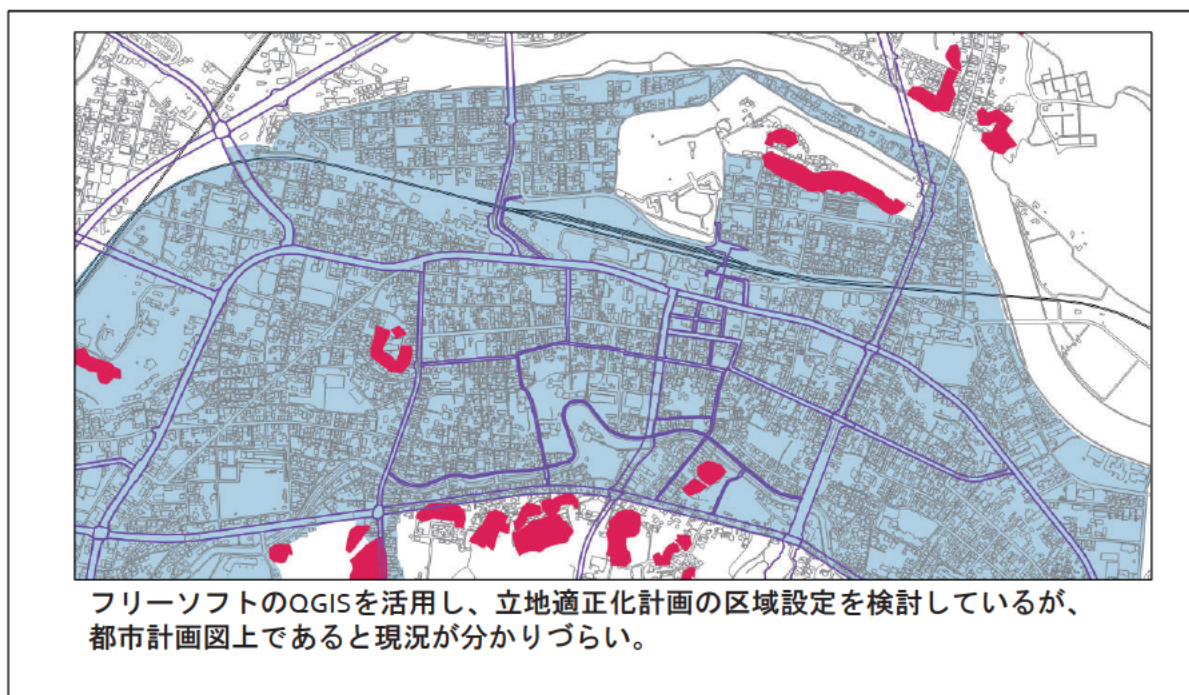
2. 説明会での利用（地域活性化協議会）

立地適正化計画基本的な考え方の説明会に活用



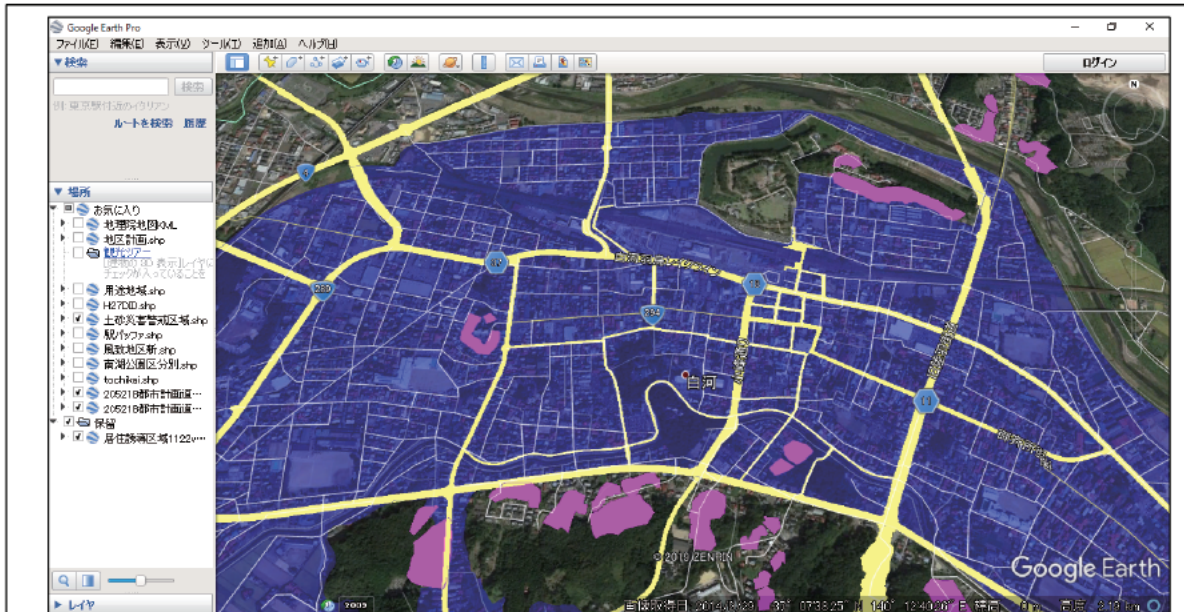
3. 既存のツールとの比較（区域設定）

GIS上での区域設定



4. 課内での利用（区域案の現況確認）

GoogleEarth Proでの区域確認



安価に航空写真との重ね合わせができ、ストリートビューもあわせて使うことで、現況確認のスピードアップが図られた。

5. 活用しようと思ったができなかった事例

活用を想定していたもののご紹介

- ・ 立地適正化計画策定に向けたコンサルティング（7月下旬）
国ご担当者様が立地適正化計画を策定中の市町村を訪れ、協議を行うもの
→都合により、会場が福島県庁となり、モニターあるいはプロジェクター及びスクリーンの準備ができなかったため、活用ができなかった。
- ・ 立地適正化計画策定にかかる国とのご相談（12月上旬）
→台風第19号が全国的に甚大な被害をもたらしたことにより、中止となった。

6. 今後の課題

気軽に利用できる環境構築が難しい

- 貸与終了後、GoogleEarth Proを利用できる環境がない。
→ 庁内ネットワークは基本的に一般ネットワークから遮断されているため、インターネットからデータを引っ張るシステムが使いにくい。
- 3Dマウスが高価
→ 庁内各所で利用する環境を構築するにあたっては、複数台の3Dマウスの準備が推奨されるが、機器が高価であり導入が難しい。
- データの充実
→ 小規模自治体は、特に統計データは少ない状態になっている。しかしながら、メッシュ以外でも、工夫次第で様々な活用が想定できるため、検討していきたい。

福島県白河市

都市の紹介



The screenshot shows the website for NSN Cycling. The main banner features a scenic view of a traditional Japanese castle (Shirayama Castle) with cherry blossoms in the foreground. To the right, two cyclists in yellow and black jerseys are riding on a road. Below the banner, there are several smaller images: a bowl of green tea, a traditional Japanese festival float (danjiri), and a soft-serve ice cream cone. A text box at the bottom of the banner reads: "NSN発 白河市サイクルイベント第3弾!! 白河・西郷・那須をゲストライダーと巡る「やまなみ周遊ルートツアー」2019年秋開催中!"

栃木県那須町・福島県西郷村と自転車事業やっています。